

## 行政視察 小倉 健一 議員

日時：平成29年7月27日(木)～7月29日(土)

場所：北海道網走市、千歳市

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～羽田空港国内線ターミナル駅	鉄道	往復	223.4	3,260	2,060			5,320
羽田空港～女満別空港	飛行機	往	1,156.0			29,890		29,890
西女満別駅～呼人駅	鉄道	往	12.8	260				260
呼人駅～千歳駅	鉄道	往	407.4	7,120	3,110			10,230
千歳駅前～フードD5前	バス	往復	5.0				380	380
千歳駅～新千歳空港駅	鉄道	復	5.6	350				350
新千歳空港～羽田空港	飛行機	復	894.0			35,590		35,590
								0
								0
計				10,990	5,170	65,480	380	82,020

宿泊料@16,500×2泊	33,000 円
---------------	----------

交通費	82,020 円
-----	----------

(うち航空運賃)	65,480 円)
----------	-----------

計	115,020 円
---	-----------

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長

関口 一也



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

## 行政視察 小倉健一 議員

日時：平成29年11月21日(火)～11月22日(水)

場所：山梨県北杜市、横浜港メガターミナル(株)

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～韮崎駅	鉄道	往	241.0	4,000	1,860			5,860
韮崎駅～北杜市役所前	バス	往復	8.5				920	920
韮崎駅～桜木町駅	鉄道	往	146.0	2,590				2,590
桜木町駅前～船員センター前	バス	往復	8.8				440	440
桜木町駅～佐野駅	鉄道	復	122.6	1,690	820			2,510
								0
								0
								0
								0
計				8,280	2,680	0	1,360	12,320

宿泊料@16,500×1泊 16,500 円

交通費 12,320 円

(うち航空運賃 0 円)

計 28,820 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 関口 一也

領 収 証

29年11月22日

様

¥ 2,500

1人分 4/6円

但し  
上記正に領収いたしました。

天明焼

源 加藤米菓本店

〒327-0845 栃木県佐野市久保町214大正通り  
TEL 0283(22)1554(代)  
FAX 0283(22)1623

お問い合わせありがとうございます  
楽しい旅を、お過ごし下さい  
佐野市観光物産会館  
佐野市金井1冊2519番地  
☎ 0283-21-5111

2017年11月24日(金) 13:05 No:0002

0418400000139  
2001天明焼箱36袋 内 ¥2,160  
0411000001520  
2001送料780 内 ¥780

小 計 ¥2,940  
内税対象額 ¥2,940  
(消費税等内税 ¥217)  
合 計 ¥2,940  
(内消費税等 ¥217)

お預り ¥3,000  
お釣り ¥60

責No:00000001:1  
取引No2538 2点買

1人分 588円

# 行政視察 報告書

報告者：小倉健一（会派に属さない議員）

視察期間：平成29年7月27日（木）～7月29日（土）

視察場所：北海道網走市、千歳市

同行会派：蒼生会

## （1）7月27日（木）

場所：網走スポーツ・トレーニングフィールド

内容：「スポーツ合宿の取り組みについて」

担当：網走市議会事務局 細川英司 様

網走市議会 副議長 渡部眞美 様

網走市教育委員会 社会教育部 岩本博隆 様

## 概要

網走市は世界自然遺産の知床や阿寒、大雪山の3つの国立公園に囲まれた網走国定公園の中心に位置し、緑豊かな市街地を形成している。オホーツク総合振興局所在地。夏は最高平均気温25度以下で過ごしやすく、冬はオホーツク海沿岸は内陸部と比べれば冷え込みは穏やかで、雪についても道内他地域に比べ積雪量は少なく過ごしやすい環境である。

面積は471.00平方キロメートル。総人口は36,448人、18,378世帯。

「子どもたちの笑顔が輝くまち」を将来像とし、健康は、まちの成長力として「健康」をキーワードとしたまちづくりをおこなっている。

網走市は北海道を代表するスポーツ合宿地として、ラグビー、陸上、バイアスロン、野球、スキーなど毎年1700人のトップアスリートが訪れている。約25年前、ソウル五輪出場チームの直前合宿の受け入れを機に土台づくりが始まり、網走ならではの付加価値を着実に高めてきた成果と言える。

網走がスポーツ合宿地として高く評価される理由には、夏は清涼な気候で日照時間が長いこと。空港から車で30分の距離で移動が短いこと。さらに、宿泊施設や医療環境等充実していることなどがある。しかし、最も重要な理由は、トレーニング環境。ラグビー日本代表チームスタッフから「日本一の芝生」と絶賛された網走スポーツ・トレーニングフィールドは、41.4ヘクタールの敷地にラグビー、サッカー場などのコート7面、テニスコート16面（オムニコート）、野球場、多目的屋内ドーム（人工芝）などを配備。このほか、市内には第3種公認陸上競技場（全天候型舗装）、総合体育館、プールなどの体育施設も充実して

いる。

スポーツ合宿の経済効果は、年5億円以上にのぼる。さらに、長年の合宿受け入れによって培った市民のスポーツ愛好心や地域ぐるみのおもてなし力は、網走の大きな財産となっており、こうした優位性を生かしスポーツツーリズムの推進に取り組んでいる。

### 視察内容

網走スポーツ・トレーニングフィールド内にて

- ① センターハウスにて挨拶、説明を頂く。
- ② ラグビー場見学(神戸製鋼が使用したばかりのフィールド。線の引き直しなど修繕中。)
- ③ 筋力トレーニングエリア見学。

### 説明・質疑応答

#### ・施設整備と管理について

網走スポーツトレーニングフィールドは平成2年6月共用開始で事業費36億円、用地面積は38.7ha。ラグビー場1面につき2100万円。運営は平成20年度から指定管理者制度を導入。とくに芝生の管理は徹底されており、14haを4100万円で別途委託している。芝自体は林野庁で作られている苗だが、「芝生組合」はNHKの取材を受けたり、国際的調査でオーストラリアの審査員からも高い評価を得ている。

#### ・取り組みによる変化と効果について

当初は市民の方のご理解も、合宿のための環境整備も大変な時期はあったが、現在は施設使用団体の受け入れについても誘致せず、予約が埋まっている状況であり、全体としても歓迎ムードである。宿泊施設もエージェントを通さず安定した大きい収入が見込まれるので喜ばれている。市側からでなく企業側から要望があり、その要望を叶えるべく選手たちの強化のサポートを徹底して行っている。平成28年度、利用実人員は1,784人。本年は2,000人を超えている。経済効果はラグビーと陸上で5億8000万円。

#### ・今後の展望について

2019年にはラグビーのワールドカップがあり、2020年はオリンピック開催されるが、日本陸連も求める高い安定性を持続して、その時だけ良いという場所でない網走をその先へも誇れるものにしていきたい。

### 考察

今回の視察で現地のスケールの大きさと共に、合宿所としての質の高い環境整備を学べた。ラグビー場の芝の美しさは元より、より真っ直ぐに引ける手製の道具での白線引き、トレーニングスペースの屋根の所々職員自ら施した溶接箇所を心奪われた。まさしく神聖な場所と感じた。使用料を無料としながらも選手の長期滞在による経済効果は大きく、維持するための不断の努力が根源と感じた。佐野市では2022年は第77回国民体育大会のラグ

ビーとバレーボール（男子）の試合会場と内定されている。新たな多目的運動場の整備計画があるが、その後の管理、運営、利用については網走に学ぶべく、利用者にとって何が必要でありどのような整備がもとめられるのか、あらゆる対策が重要と考える。

(2) 7月28日(金)

場所：千歳市防災学習センター「そなえーる」

内容：防災学習センター「そなえーる」について

担当：千歳市議会事務局 青山聡 様

千歳市防災学習交流施設 里村貞治 様

#### 概要

千歳市は石狩平野の南端に位置し、国立公園支笏湖や清流千歳川などの豊富な自然に囲まれている。新千歳空港、JR 鉄道、高速道路が結節する交通の要衝であり、11 か所の工業団地や、石狩管内一の生産量を誇る農業地帯があるなど、自然、産業、都市環境が調和した街。陸上自衛隊第7師団と航空自衛隊第2航空団の基地や演習場があり、自衛隊と共存した社会を築いている。北海道石狩振興局所在地。

面積は594.50平方キロメートル。総人口は96,483人、48,496世帯。

住宅地を自衛隊の戦車が頻繁に通行する「c 経路」の騒音振動被害への解決と、沿線地域の生活環境の改善に努めてきたが、一層の改善を要望されていた。このような状況のなか、国の高額補助制度「まちづくり構想策定支援事業」が創設されたことから、c 経路沿道の課題解決を図るとともに、市の総合計画にある総合的な防災対策の推進や自主防災組織の充実などの観点から住民要望や住民懇話会での議論を踏まえ「防災学習交流施設」の整備を行うこととし、平成17年12月補助事業と採択され、防衛施設と共存した災害に強い安全なまちづくりを進めることとした。

総事業費は約21億円。財源内訳は防衛省所管民生安定事業で実施しており、国庫補助率は75%で、残り25%は起債75%、市債25%。

防災学習交流施設は、総面積8.4haでA・B・Cの3つのゾーンからなっている。その中で、防災学習センター「そなえーる」は防災訓練広場、副訓練棟、常設ヘリポートなどと合わせAゾーンに配置されている。3階建て延べ面積約2,300㎡。災害を「学ぶ」「体験する」「備える」をテーマに、災害の疑似体験や防災学習を通じて、防災意識の向上を目的としている。起震措置や煙避難装置、予防実験装置、避難器具などを備えた施設となっている。

## 視察内容

防災学習センター「そなえーる」にて

- ① 防災学習室にて、挨拶、災害・訓練の様子ビデオ視聴と併せ説明を頂く。
- ② 施設内：展示コーナー
- ③ 施設内：地震体験コーナー（体験）
- ④ 施設内：煙避難体験コーナー（体験）
- ⑤ 施設内：避難器具・屋内訓練室見学
- ⑥ 施設内：展望窓よりc経路戦車通行中の見学

## 説明・質疑応答

### ・「そなえーる」の現在の位置付けについて

災害時、消防の司令センター、市役所危機管理課と繋がっており、防災の拠点として  
いる。千歳市役所は耐震機能を満たしていないため、局所的大地震等により市役所が倒  
壊した場合などは本部を設置し対応する。各市町村からの援助物資の集積場所にもなる。  
ほかに市内小学校4年生全児童に危機管理課、教育委員会と協力し、防災学習の場とし  
て利用。

### ・運営に対しての年間経費と利用実績について

防災学習センターでは13名の職員（臨時職員9名・非常勤4名）がおり、人件費、  
芝生の管理などで年間経費は3,300万円。利用実績は防災授業で約5,000人、一般来館  
約15,000人、少年サッカーチームへの貸出等約5,000人、防災の森キャンプ場利用等  
約15,000人。合わせ年間約4万人の来館利用がある。

### ・設置による効果、市民の災害に対する意識の変化について

昨年熊本地震の時、千歳市の自衛官が後方支援に行った経緯で、戻ってきてから防  
災学習センターで防災講話を実施。約100人の参加。その際のアンケートで9割の方が  
また参加したい意向であった。防災について、防災学習センターについて市民の理解が  
得られていると思われる。

### ・今後の自主防災会の組織化等、地域防災力を高めるための手法について

千歳市は自主防災組織結成率は73%。平成32年には全国レベルの80%を目指した  
い。防災ハンドブックにより危険区域、指定避難所などの情報を知ってもらうよう委託  
業者を通じ全戸配布。出前防災講座を実施しているが、高齢者のための講座送迎なども  
多くの方に参加してもらえるよう工夫して取り組んでいく。

## 考察

千歳市は自衛隊との関係性が強く、関連勤務される人口割合も多いことから防災に対  
しての意識も高いものと想定していたが、市は防災力の向上とともに、住民のさらなる  
生活環境改善、防災関係機関に対する理解を深めるため取り組んでいることが分かった。

防災学習センター「そなえーる」は防災学習や防災訓練を継続して実施する場であり、災害時には災害対策の拠点として役目を担う施設として市民への認知も定着されている。

市の取り組みにおいては、避難弱者問題を捉え、高齢者対象の防災講座の送迎や町会未加入者も情報共有されるよう町会への周知に留まらず委託業者を通じ徹底している。また、目的外ではあるが、若い世代にも利用してもらうよう少年サッカーチームへの貸与も行なっていることなどは施設の有効活用と合わせ、平均年齢の若い千歳市に裏付ける柔軟力なのではと感じた。

佐野市においても、自主防災会組織化の促進や防災・危機管理体制の整備等進めており、防災・気象メールの配信など積極的な取り組みがされているが、現在、まだ市民の防災意識は低い。今後さらに、関心を高める工夫や避難弱者への対応など多くの課題解決に向けて整備を進め、市全体の防災力を高めていけるよう努めていかなければならない。



# 行政視察 報告書

報告者：小倉健一（会派に属さない議員）

視察期間：平成 29 年 11 月 21 日（火）～11 月 22 日（水）

視察地：山梨県北杜市、神奈川県横浜市

同行会派：新風

（1）11 月 21 日（火）

場所：北杜市役所

内容：「太陽光発電設備設置に関する指導要綱」について

担当：北杜市 建設部まちづくり推進課 課長 植松宏夫様

北杜市 建設部まちづくり推進課 景観まちづくり担当 末木陽一様

**市の概要** 北杜市は山梨県北西部に位置しており、北は八ヶ岳連峰、南西に甲斐駒ヶ岳からなる南アルプス、北東は瑞牆山など美しい山岳景観に囲まれている。76%が山林で清らかで豊富な水資源、高原性の気候、歴史的な街並みや温泉地など豊かな資源に恵まれている。「人と自然と文化が躍動する観光地」をキャッチフレーズに環境創造都市を目指している。面積は 602.48 km<sup>2</sup>。総人口は 47,558 人、20,641 世帯。

## 視察内容（北杜市の説明）

○**経過・現状** 日照時間は多い時 3000 時間超え日本一。この地域特性を活かし太陽光発電設備の導入が個々の事業とともに図られたが、平成 26 年 4 月当初すでに 4,000 件を超える認定がありながら、基礎自治体への届け出不要の為、山林の伐採、景観の阻害など市民の不安を募らせるものとなっていた。そこで各関係部局が集まり条例化を念頭に始まった。しかし、条例制定は可能だが、条例の適正、法令範疇判断の難儀により、平成 26 年 9 月行政収用の要綱制定となった。現在、1,510 件が稼働、容量は 3 割超える程度。以降 3,500 件の設置予定。

### ○要綱制定の 3 つの柱

①届け出制度の創設

②関係法令の確認、順守

③事業者等の責務（チェックシート）

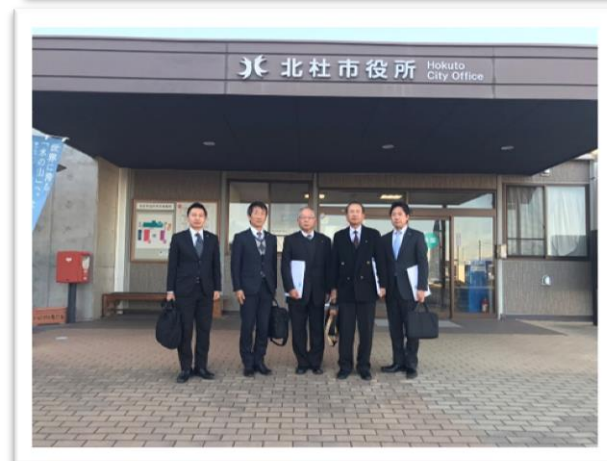
チェックシート内容

事業者の情報案内看板設置／発電所とするフェンス等の設置／定期的草刈り、除草剤の散布禁止／撤去時の「廃棄物の処理及び清掃に関する

る法律（廃掃法）」遵守 等

○今後の取り組み とくに北杜市へ移住、定住された方の景観変化の苦情は多い。景観条例、指導要綱をもとに指導、国・県のガイドラインを参考に対応していきたい。また、指導要綱設置前の案件は指導できないが、届け出をお願いし現状把握に努め、FIT法の観点での指導、助言をしていく。平成29年6月条例案の提出を踏まえ、太陽光発電設備・再生可能エネルギー発電設備に関する検討委員会が立ち上げられたので、課題の議論を深め進めていく。

所感 佐野市においても災害起因不安、景観阻害、住環境への影響など様々に問題となっている。北杜市では法令対象外の事業であっても適正に導入が図られるよう事業者等の留意すべき事項が表され対応されていた。太陽光発電設備設置に対する規制については憲法の経済的自由権、財産権の行使という部分に制限をかけることが可能かどうかということになり難しい部分であるが、事業者も地域住民も双方調和が図られるよう佐野市も条例等の制定、整備し対応していかなければならない。



(2) 11月22日(水)

場所：横浜港メガターミナル株式会社

(本牧ふ頭 BC コンテナターミナル4階)

内容：「港湾コンテナターミナル」について

担当：横浜港メガターミナル株式会社 業務部 本牧事業所 所長 相川俊一様

港湾運送事業本部 横浜ターミナル事業所 所長 難波尚正様

港湾運送事業本部 横浜ターミナル事業所 ターミナル課 課長 難波尚正様

### 本牧ふ頭 BC コンテナターミナルの概要

2,005年12月に供用を開始した日本屈指の高規格コンテナターミナル。総面積50ヘクタール。岸壁の総延長は1,390m水深13~16mの岸壁には、積載能力8,000TEU超の大型コンテナ船が接岸できる。メガターミナルとして一体的に運営され、荷役の効率化を実現。「横浜港メガターミナル株式会社」(略称：YPM)は2,005年、横浜市から国土交通省の同意を得て、国内初のスーパー中樞港湾計画での「認定運営者」に指定されている。

### 視察内容

#### ○運営状況(運営者の説明)

年間約1,800隻、90万TEUの取り扱いをしている。コンテナの場所確保のためエリア外に3カ所、スペースを借りている。トランステナー方式で荷役機械を使用し限られたスペースで効率性の高い運営をしている。24機のトランステナー、10機のガントリークレーン所有。ガントリークレーン、トランステナーが老朽化しており修繕費用が年々嵩んでいる。昨年約1億5000万円。今後、10年、15年に1度変えなければならない大きい補修がある。契約上借り受け者が修理することになっているが1回2億以上の修理が控えていることから横浜市港湾局、横浜川崎国際港湾等へお願いしている。

SOLAS 対応については制限区域の安全をテロなどから守る費用として月600~700万円。国の政策だが費用は事業者負担。

ヒアリ対策については現在は出ていないが、対策としては在来種がヒアリの侵入を防ぐというので殺すこともせず見守り、発見された場合は駆除する。

## ○港湾コンテナターミナル内見学

①屋上 港湾内バンプールでの大型荷役機械での作業、コンテナ搬出のトレーラーの流れなど全体を説明を受けながら見学。

②船側 大型コンテナ船の接岸、免振装置付ガントリークレーンでの荷役作業の様子を見学。

## 所感

メガターミナルの現場を確認し、運営側の実直な話を聞くことができた。中でも修繕にかかるコスト、人的雇用問題などの問題、対策は規模、状況は異なるが大変参考になった。平成 29 年 1 1 月、佐野インランドポートが開港されたが、今後の運営の在り方によって産業文化立市の軸としての役目を果たされるものとなる。指定管理者 吉田運送株式会社での事業計画においては 13,000TEU を目標としているが今後の施設運営維持を考え、安全面の配慮、作業効率性を高めた全体的な管理運営に努めたものでなくてはならない。

